



ちばりは ニュース

2012年11月 発行 第11号
千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区菅田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理 念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

特殊外来をご紹介します。

車椅子外来と座位保持外来

当センターでは、通常の外来のほか、特殊外来として、主に18歳未満の方を対象として車椅子外来、座位保持外来を行っています。

車椅子外来



座位保持外来



当センターで車椅子や座位保持装置を作製するときは

1. まずは市町村の福祉課に

18歳未満の場合は、あらかじめお住まいの市町村の福祉課から、意見書など、補装具作製にあたって必要な書類を取り寄せていただきます。

2. 主治医または担当訓練士にご相談を

当センターで、車椅子や座位保持装置の作製を希望される方は、主治医または担当訓練士までご相談ください。

3. 作製から完成まで

当センターでは、医師の診察の上、理学療法士及び作業療法士が事前に評価を行い、種類や必要な備品などの相談や、準備できるものであれば試乗などを行った上で専門業者が作製いたします。なお、市町村の福祉課から取り寄せていただいた意見書に医師が必要事項を記入いたします。

完成までは、通常、採型→仮合せ→完成の3回程度の通院をお願いしています。



車椅子外来



車椅子外来では、車椅子や歩行器などの処方を行っています。



●外来日は
第1.2.4.5木曜日の午後

●診察室は
1階の第13・14診察室



座位保持外来

座位保持外来では、座位保持装置、座位保持いす（車載用を含め）などの処方を行っています。



●外来日は
第1金曜日の午前午後
第3木曜日の午後

●診察室は
1階の第13、14診察室



当センターの車椅子外来、座位保持外来では、医師、理学療法士または作業療法士、業者が一同に集まり、採型、仮合せ、完成の各段階において、意見を共有し、できるだけ適切なものを、また、そのお子様にあったものを作成できるように努めております。

※学会等で休診となる場合があります。



第10回脊髓損傷リハビリテーション講習会

今回は「脊髓損傷者の生活を豊かに」というテーマで講習会を開催しました。

当日は134名と多数のみなさまにご参加いただきました。本当にありがとうございました。



センター長挨拶



熱心に聞き入る参加者の方々

第10回 脊髓損傷リハビリテーション講習会	
日時	平成24年11月3日 (日)
受付 会場展示開始	12:30~
開演	13:15~15:45
講演 ①	13:15~14:15
脊髓損傷者の 社会復帰後の健康管理について 独立行政法人労働者健康福祉機構 中部ろうさい病院 第二リハビリテーション科 部長 田中 宏太佳 先生	
講演 ②	14:45~15:45
車椅子クッションの 自己管理について 千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 田中 康之 川上 貴弘 北郷 仁彦	
会場: 千葉リハビリテーションセンター 大会場	
★お問い合わせ先: 田中 宏太佳 先生 〒260-0822 千葉県千葉市中央区新大塚1-1-1 第二リハビリテーション科 田中 宏太佳 先生 〒260-0822 千葉県千葉市中央区新大塚1-1-1 第二リハビリテーション科 田中 康之 先生 TEL: 043-261-2821 FAX: 043-261-2847 会費: 千葉県リハビリテーションセンター 協賛: 一般社団法人日本リハビリテーション協会 この講習会が一般社団法人日本リハビリテーション協会の協賛で開催されています。	

講習会の様子をご紹介

【第一部】

講演：脊髓損傷者の社会復帰後の健康管理について

講師：中部ろうさい病院

第二リハビリテーション科部長 田中宏太佳先生

[講演の流れ]

痙縮、排尿障害、下肢装具、免荷式トレッドミル、環境制御など多くの切り口で、実例を示しながらデータに基づいた医学的な観点で健康管理について分かりやすくお話しいただきました。



第一部の講演の様子

【第二部】

講演：車椅子クッションの自己管理について

講師：千葉リハビリテーションセンター

地域連携室長 田中康之

理学療法士 川上貴弘

理学療法士 北郷仁彦

[講師より一言]

車椅子クッションの毎日の管理、調整方法、除圧動作などを座圧の実測値を示しながら説明させていただきました。

車椅子上での褥瘡を予防するためには欠かせない基本的なことがらにもかかわらず、自己流になりがちなクッション管理を見直していたかくための良い機会となれば幸いです。



第二部の講演の様子



車椅子の展示



自走車用リフトの展示



マットレスの展示

第9回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

開催のお知らせ

障害者の就労 ～高次脳機能障害者を視野に入れて～

開催日：平成24年1月12日（土）

基調講演：13:00～14:30

テーマ：「障害者雇用の現況と課題について」

講師：NPO法人 障がい者就業・雇用支援センター 理事長
秦コンサルティングオフィス 代表 秦政氏

パネルディスカッション：15:00～16:30

テーマ：「高次脳機能障害者の就職（復職）を考える」

パネリスト：日本通運(株)東京航空支店 梅山 和隆氏
生活クラブ風の村 平田 智子氏
当事者 宮内 郁叔氏
千葉県千葉リハビリテーションセンター 中島 光喜氏

場所：千葉市文化センター3階 アートホール
千葉市中央区中央2-5-1

定員：497名（参加費：無料）

連絡先：リハビリテーション講習会実行委員会事務局
（千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター）

〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-2

電話：043-291-1831（内線198）／FAX：043-291-1847



高次脳機能障害者を視野に入れて、障害者雇用の現況と課題を踏まえながら就職（復職）について考えます。

たくさんの参加をお待ちしております。

センター案内図



車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内

（センター⇄JR鎌取駅 循環運行）

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
（専用のバス停はございません）
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
中型バス（黄色）・・・2名
マイクロバス（水色）・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。